

# 愛有会 運営事業所

## 久米川病院

東京都東村山市本町 4-7-14  
TEL. **042-393-5511**

介護老人保健施設

## 久米川

通所リハビリテーション

東京都東村山市本町 4-7-14  
TEL. **042-313-0710**

訪問看護ステーション

## はぎやま

指定居宅介護支援事業所

東京都東村山市本町 4-7-14  
TEL. **042-396-7700**

## はぎやま

指定居宅介護支援事業所

東京都東村山市本町 4-7-14  
TEL. **042-391-3007**

## こはぎ

指定居宅介護支援事業所

東京都東村山市栄町 2-10-51  
NSビル 107 2階  
TEL. **042-391-3021**

## 三愛クリニック

東京都八王子市宮下町 377 番地  
TEL. **042-691-4111** (代表)

## さんあい 介護医療院

東京都八王子市宮下町 377 番地  
TEL. **042-691-4111** (代表)  
TEL. **042-691-4131** (相談室直通)



(以下左から)  
編集長  
法人事業部室長 浅野  
法人事業部  
統括マネージャー 服部



久米川病院/介護老人保健施設久米川  
事務長 八尋  
情報室長 長岡  
看護事務 高良  
総務課 永尾  
総務課 柴田



三愛クリニック/さんあい介護医療院  
コメディカル部長代理 上利  
総務課長 野口  
総務課 藤原



訪問看護ステーションはぎやま  
事務 小森

社会医療法人社団 愛有会

# 愛有会通信

■発行者/東京都東村山市本町4-7-14  
社会医療法人社団 愛有会  
TEL.042-390-2033  
<http://www.aiyukai.jp>

社会医療法人社団 愛有会

# 愛有会通信

令和5年1月 発行

Vol.12

通算 第231号



## 愛有会 基本理念

- 1. 地域包括ケア**  
私たちは、医療・看護・介護・予防・生活支援のサービスを通じて、地域と共に安全で安心して暮らしていける街づくりに貢献します。
- 2. 環境経営**  
私たちは、様々な環境への取り組みを責務と考え、職員全員で質の向上と環境負荷の低減に努めます。
- 3. 健康経営**  
私たちは、職員の健康保持と共に働き方改革を推進し、多様な人材が向上心を持って働き続けられるよう努めます。
- 4. 地域防災**  
私たちは、事業活動と地域社会活動を持続していくため、災害防止対策と災害時支援活動に地域と共に取り組みます。







## 社会情勢への適応と 更なる成長を目指して

社会医療法人社団 愛有会

理事長

**阿部 真也**

久米川病院 院長  
介護老人保健施設 久米川 施設長

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナの感染は世界的に増加し、日本国内の感染者数は昨年12月までの累計で2,600万人を超過しました。感染者の発生が常態化する中でも経済や社会生活を維持するため、世界は「withコロナ」社会へと移行しています。

愛有会では、全ての事業所で感染対策を強化する中、事業経営の更なる発展と収益力の向上を目指して一層の努力を重ねています。特に災害等の発生時にも事業活動を継続できるように新たに「地域防災」を基本理念に加え、災害防止復旧対策と地域支援活動に取り組んでいます。

久米川病院・老健久米川では、移転新築から3年目を経過し、目標としていた最上位の施設基準の取得に成果が見えてきました。

救急搬送患者の受入れ率の向上や整形外科を中心として、幅広く手術に対応できる態勢づくりに努めています。

さんあい介護医療院では、地域社会での介護

入所需要が縮小していく変化にも対応しながら、全職員が協力して地域と顔が見える関係づくりを進めています。また、新たに訪問看護ステーションを開設し、当地域の在宅療養支援体制の構築に参加して参ります。

訪問看護ステーションはぎやまは、毎年安定した事業実績を積み重ね、愛有会の大きな事業基盤として確立しています。次年度からは近隣地域に新規事業所の開設を目指し、在宅ケア需要の増加に対応すべく事業の拡大を計画しています。

居宅介護支援事業所はぎやま・こはぎについては、現在の利用需要への対応を継続させながら、現在2カ所の事業所を統合させて、上位の事業所基準の取得と対応エリアの拡大を目指して取り組んでいます。

私たち愛有会は、社会情勢の変化に敏感に適応しながら、行政機関と地域住民の皆様と共に協力して社会医療法人としての責務に応えられる活動に取り組んで参ります。



理事

**大川原 真澄**

(三愛クリニック 院長)  
(さんあい介護医療院 院長)

明けましておめでとうございます。

長く親しまれた三愛病院が、さんあい介護医療院、三愛クリニックとなって一年が過ぎました。医療院においては、医療の場から生活の場へと軸足が移りました。しかし新型コロナ感染症の影響でまだ十分に利用者様の要望に応えられていません。季節の行事やお楽しみの行事もなかなかできず、ご家族様との面会もシールド越しとなっています。はやく利用者様、ご家族が安心して触れ合える時が来ることを願いつつ、様々な工夫をして満足していただける場を作っていきたいと思います。

クリニックにおいては外来での診療、健診、予防注射などを行っていましたが、これからは訪問診療、訪問看護、出張によるワクチン接種など、より地域の方々のお役に立てるようにしていきたいと思います。

少し奥まったところにある施設ですが、梅や桜が咲き誇る素敵なおところです。それに負けずに笑顔あふれる施設にしていきたいと思っています。今年もよろしくお祈りします。

新年あけましておめでとうございます。

久米川病院では、昨年より新たに消化器外科外来を開設しました。上部・下部内視鏡検査や消化器系手術の実施体制強化に向けて現在体制作りを行っています。また、令和2年度から開始している整形外科手術についても対応疾患の拡大を図っています。外傷だけではなく膝や大腿部の人工関節や頸椎、腰椎の手術も始めました。

老健久米川では、6月よりユニット型で超強化型老健の加算を取得し、これまでより一層利用者様が在宅復帰できるよう職員一丸となって取り組んでいます。

Withコロナ下での病院、施設の運用について、管理者として変化に柔軟に対応し、地域の皆様が安心して暮らしていけるよう支援して参ります。本年も宜しくお祈り致します。



理事

**横尾 藍**

(久米川病院 看護部長)

新年あけましておめでとうございます。

この3年ほどは新型コロナウイルス感染症パンデミックの中、事業継続に力を入れてきました。しかし、今後新型コロナウイルスは季節性インフルエンザ並みの「5類」へ引き下げられるようです。もちろん感染対策は重要ですが、世の中が落ち着くことを願います。

そこで訪問看護ステーションはぎやまでは、令和5年の事業計画として、頓挫していたサテライトを稼働させることを目指しています。在宅医療が手薄でサービスが受けられずにいる地域をリサーチしており、候補として武蔵村山市方面を検討しております。今まで準備していた東久留米市と小平市はもう少し状況を見たいと思います。

本年もご指導いただけますよう、どうぞよろしくお祈りいたします。



理事

**佐野 みゆき**

(訪問看護ステーション  
はぎやま 所長)



# 愛有会 BCP への取り組み

## BCPとは…?

BCPとは事業継続計画(Business Continuity Plan)の頭文字を取った言葉です。  
愛有会では、様々な災害の発生を想定し、業務が継続できる計画と訓練に取り組んでいます。

### 久米川病院・介護老人保健施設 久米川

久米川病院・老健久米川は、市役所と隣接して市の中央部にあることから、東村山市と「災害対策並びに地域福祉の向上に関する包括連携協定」及び「福祉避難所の指定に関する協定」を締結しました。

平常時より緊密な連携を推進し、地域の防災力の強化および市民福祉の向上を図ることを目的としています。

#### 協定に基づく連携内容

- ① 災害対策に資する施設の借用に関すること
- ② 災害時の医療救護活動に関すること
- ③ 地域福祉の向上に関すること
- ④ その他災害対策並びに地域福祉の向上に必要な支援に関すること



東村山市内で大規模な災害が発生した場合において、避難行動要支援者が避難するための福祉避難所として使用する旨も協定で定めています。

### さんあい介護医療院

さんあいは、BCP に沿って大規模災害時に対応できる様に十分な備蓄に力を入れています。

また、地域住民の方々の避難場所としても利用できるように、町内会と連携した活動や訓練を進めています。

2022年11月22日  
四施設（さんあい介護医療院・桜の里・偕楽園ホーム・シルバービレッジ八王子西）  
合同自衛消防訓練



### 訪問看護ステーション はぎやま 指定居宅介護支援事業所 はぎやま・こはぎ



はぎやまこはぎでは、合わせて12台の車両を管理しています。今回、通信機能付きのドライブレコーダーによる先進の運行管理・支援サービスを導入し、事故防止と安全運転支援を図っています。

各職員の運行ルートや、急ブレーキ・急発進などの危険行動をメールで受信できるため、安全運転の管理と指導に結びついています。



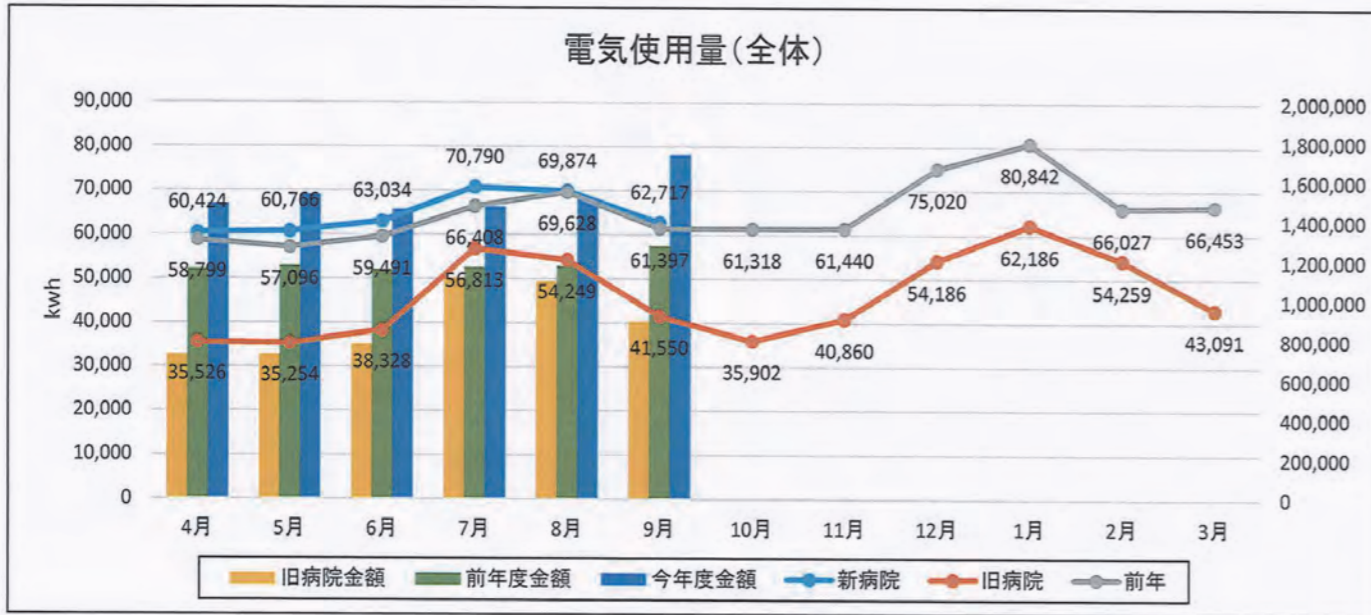


# 節電への取り組み

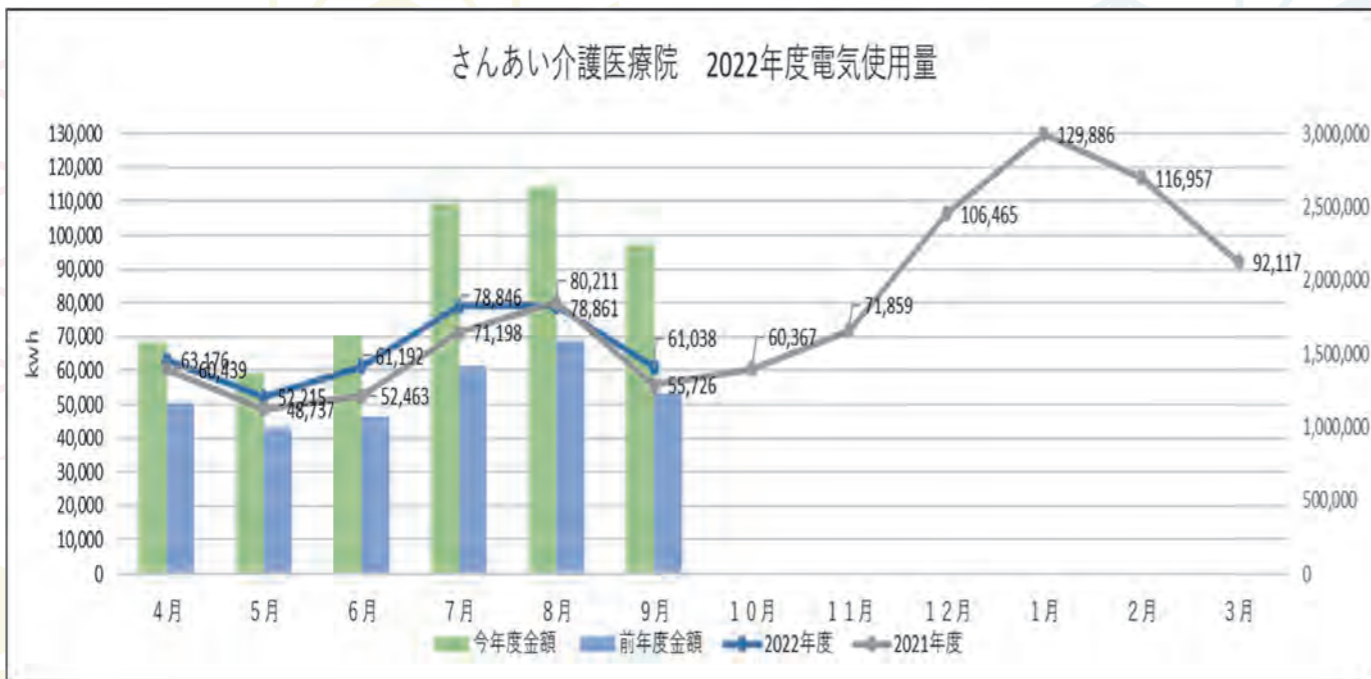
エネルギー価格高騰の影響により、久米川病院の電気使用量は8月までの累計で、昨年比に比べ27.9%増加し、金額では1,631,000円の増加となっています。さんあい介護医療院では、56.4%増加し、3,509,471円の増加となっているため、更なる節電の取り組みを開始しています。具体的には、9時・15時の院内放送による節電の促し、電気使用量の見える化による意識づけ、30分毎のデマンド値をグラフにしピークの把握及び、スマートクロックを活用したピークカットの取り組みを行っています。

## ●電気使用量の見える化

【久米川病院・介護老人保健施設久米川】



【三愛クリニック・さんあい介護医療院】



# 通所リハビリテーション

- 介護保険を利用した送迎付きのリハビリテーションサービスです。
- 要介護・要支援(予防通所リハビリテーション)の方を対象としています。

「体調はいかがですか？」

困っていることの聞き取りから、お体の動きや動作能力を確認し、利用者さんに合わせた目標を立てていきます。目標に向かって、個別リハビリや集団体操、自主トレの習得支援等を行っています。



さんあい介護医療院

2022年度実績(4月～11月) (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
延べ利用者数	362	342	392	358	381	368	327	356	2886
1日平均	17.2	15.5	17.8	17.1	16.6	16.7	15.6	16.2	16.6



皆様に笑顔で通っていただける様スタッフ一同心掛けていきます。お気軽にご相談いただければと思います。

介護老人保健施設久米川

2022年度実績(4月～11月) (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
延べ利用者数	165	135	140	150	166	193	219	202	1370
1日平均	8.2	7.3	6.3	7.5	7.5	9.6	10.9	10.1	8.4



- 利用者居住エリアは当施設の所在地でもある東村山市本町が最も多く、半数近くをしめます。
- また、ほとんどの方が直線距離では1.5km圏内で、遠い方でも2kmほどとなっています。



見学受け付けております。お気軽にご相談ください。私たちがサポートします！

通所リハビリでは、40歳代から90歳代までの脳血管障害後遺症、パーキンソン病、循環器・呼吸器疾患、認知症、生活不活発病、整形外科疾患(脊柱管狭窄症、骨折術後、変形性関節症)などの多岐にわたる疾患を有する方にご利用いただいています。利用者様一人ひとりの希望に合わせ、プログラムを構築し、生活の目標達成に向けて取り組んでいます。



## さんあい介護医療院・三愛クリニック

### 迎春

新型コロナ感染症に加え、インフルエンザも気になるこの冬ですが、地域の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

当院・クリニックでは御利用者様の健康を第一に考え、日々頑張っております。

本年も引き続き宜しくお願い申し上げます。



診療部長  
竹下 政志

## あけましておめでとうございます

当院は2021年10月から全ての病床が介護医療院となり、2年目を迎えることとなりました。また外来はクリニックとして併設される形となり、外来診療・健康診断・訪問看護・訪問診療等、在宅部門の強化拡大に取り組み、地域包括ケアシステムを推進して参ります。

そのため、昨年11月1日から総合支援相談室を開設いたしました。多職種連携で入退所の支援（相談・入所・退所・継続の支援等）だけではなくクリニック部門・在宅部門の相談支援を行って参ります。

皆様のご健康とご多幸を心からお祈りいたします。

本年もよろしくお願い申し上げます。



看護部長  
川戸 美智子



## 謹賀新年



三愛クリニック 訪問看護師  
相田 園子

旧年中は地域の皆さまには当院に多大なるご厚情を賜り心より御礼申し上げます。訪問看護は昨年までは三愛クリニック内のみなし事業である訪問看護でしたが今年4月からは『訪問看護ステーション』を立ち上げることとなりました。地域に根ざした訪問看護ステーションとなる様、研鑽して参ります。

よろしくお願いいたします。

通所リハビリテーション  
山本 匡彦

通所リハビリテーション事業を開業し、4年が経とうとしています。利用者様にとって大切な活動に重きを置き、生活に寄り添ったリハビリを積み重ね、皆様が思い描く生活の実現に向け、今後も利用者様と共に歩んで参ります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。





## 訪問看護ステーション はぎやま

新年あけましておめでとうございます。

昨年を振り返って印象に残った事例をお話したいと思います。60代女性、婦人科のがんを患い治療を頑張ってくれましたが、余命宣告を受けました。子供はなく夫と二人暮らし。夫も調子が悪いため、本人が食事づくりや家事をこなしていました。そんな中唯一の癒しが子犬のシーズーでした。真っ白でかわいい子ですが、多頭飼育崩壊から保護団体に助けられたため、ピピリちゃんでした。具合が悪くても面倒を見ていましたが、散歩に行けない日が続く、夫から「お前にもしものことがあっても面倒は見ない」と言われていると相談され、みんなで引き取り先を探すため、写真を撮って見せ、引き取ってもらえないかあちこちに聞いて回りました。結局引き取り手は見つかりませんでした。最近になり夫が妻亡き後は面倒を見ると言ってくれたそうです。今までもこのような事例はありましたが、結局間に合わず行政にゆだね殺処分となったケースもありました😞。こういった問題にも、皆様とぜひ一緒に考えていきたいです！

今年もよろしくお願いいたします。

所長 佐野 みゆき

## はぎやま脱アナログ宣言！

現在朝の体操とミーティングは、リモートで音声と画像を繋いで3事業所合同で行っています。申し送りも相互で行えるため、連携がスムーズにとれるようになりました。まだ接続に時間がかかってしまうこともありますが、「アナログはぎやま」だった頃に比べたら、なんとも素晴らしい進歩だと自負しております。職員みんなが働きやすい環境が作れたらと思います。

事務 小森 麻美



## 地域の方を対象とした電話相談を始めています！

訪問看護ステーションはぎやまでは、訪問看護を利用される方やそのご家族からの相談に電話で応じられるよう、「もしもし、みみはぎ」を令和2年より開設しています。自宅療養の悩みなど、電話でゆっくりとお話を伺い、安心してお家で過ごせるようお手伝いをさせていただいています。さらに今年度からは、訪問看護をご利用されていない地域の方に対しても同様に相談を受けられるよう、「市民向け電話相談」を新たにスタートしました。久米川病院近隣の郵便局やスーパーなどにリーフレットを置かせていただいています。

療養に関して心配なこと、気になること、困りごと、今後の過ごし方について、がんと言われたけどどうしたらいいの？、ホスピスについて知りたい、などなどお気軽にご相談ください。



電話 **042-313-3250** 月曜～木曜日 10時～12時・14時～16時

## 居宅介護支援事業所 はぎやま

新年あけましておめでとうございます。本年も皆様とより良い関係を作っていければと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

所長 高橋 佐知子



ケアマネージャー（CM）は1ヶ月40人前後の利用者様を担当するのですが、皆様色々な事情がございます。自分らしく生活をするためにはどうしたらいいのか？「正解のない仕事」とも言われる通り、「満足しているだろうか？」「困っていないだろうか？」と悩みます。本人・家族の意向を一番に、周囲の協力も得てより良いケアに繋がられるよう知識を深め、努力している毎日です。

CM 飛澤 恵美子

## 居宅介護支援事業所 こはぎ

新年あけましておめでとうございます。

「コロナ禍ではございますが…」が、ご挨拶の枕詞となって早3年の歳月が過ぎようとしています。コロナ元年に産声を上げた居宅こはぎも昨年9月で満3年を迎えることができました。手探りの事業所運営、コロナ禍など様々な不安の中でスタッフと共に夢中で走ってきた3年間。石の上にも三年と言いますが、ただただ感無量です。それもこれも地域のみなさまのご理解とご協力に支えられてのことと、感謝の思いで一杯です。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



所長 立石 あさひ

## 介護相談カフェを計画中です！

介護保険を初めて利用される方は、皆さん口を揃えて「よくわからない」と言います。そんな時「分かりにくいですよ、私も最初は全く分かりませんでした」とお伝えしつつ、説明できないことがないようにと日々勉強しています。

困ってはいるけれど、具体的に何に困っているのか説明できない、誰に相談したらいいのかわからない、役所に行くほどじゃないんだけど…と悩んでいる方も多くいらっしゃるようです。そんな方たちが気軽に介護相談ができるカフェができたらと、地域のCM達と一緒に計画中です。開設の際はこの誌面にしてお知らせいたします。身近に困っていそうな方がいたら、そんな場所もあるらしいよと、その時はぜひお伝えいただけたらと思います。 CM 奥田 めぐみ